

み

か

い

安住院便り (第14号)

平成17年1月1日発行
〒703-8236
岡山市国富3丁目1-29
住職 生駒琢一
TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

大師入唐求法千二百年

前回の号で御案内致しましたように、昨年は弘法大師空海上人が、唐の国、今の中國に渡り、当時の都・長安（現在の西安）の青龍寺に於いて、惠果和尚から、密教という素晴らしい仏教を受け継がれてから千二百年になります。その後、お大師様は日本に帰り、新しく真言宗を開かれたのです。

現在、真言宗と名乗っている寺院の基は、総てこの千二百年前の青龍寺での、お大師様の御受法から始まつてきています。

その青龍寺にて、昨年十月末に真言宗の各本山が主催して記念法会が厳修されました。日本中合同にて法会が進み、私も威儀を正して、無事成満となりました。

但し、現在の青龍寺は、二十年前、日本と中國のお大師様を想う友好の心により復興されたもので、空海紀念堂として親しまれています。お大師様は、この青龍寺を模して香川県の御誕生の地に善通寺を建立されました。現せんが、青龍寺の規模の広大さを伺うことは出来ると思います。

当時、シリクロードの出発点として、世界有数の大都市として、繁栄の頂点の時でした。



お大師様が苦難の末、この長安の都に着き、青龍寺に於いて惠果和尚にお会いした時、どれほどの感動を覚えたことでしょう。更に、最新の仏教である密教を授けて頂き、日本に持ち帰ることに、どれほどの期待を抱いておられたことでしょう。

しかも、その年に惠果和尚は遷化されました。惠果和尚も総てをお大師様に渡すことに最後のお力を注がれました。偶然であります。歴史にもしまして、お大師様は決してない、計り知れない御縁に結ばれたことです。歴史にもしまして、お大師様と惠果和尚が会えないなかつたならば、日本の佛教はどうなつていたか分かりません。

お大師様自身がお書きになつた惠果和尚の碑文に「虚しく往きて實ちて帰る」との、お大師様の心を的確に示した文があります。偉大なお大師様も、惠果和尚という立派な師と、御縁を結ぶことが出来て、素晴らしい実を結ぶことになつたのです。

皆様、御縁を大切にし、人生の良き師に巡り会えますように。

初観音法要のご案内

来る一月十七日（月曜）

午後一時より

本尊千手観音御宝前に於いて、大般若祈祷並びに護摩供を厳修致します。

念頭にお配りする「とし書き」にご記入の上、ご参詣下さい。また、特別祈祷も申し受けますので、前日までにご連絡下さい。

真言宗友好訪中団

昨年十月末一週間の日程で、中国の西安と洛陽に参拝致しました。西安は先に述べましたが、洛陽も中国の旧都で、白馬寺という最初の仏教寺院があり、現在でも大伽藍が整備されています。そこでも日中合同法会を行いました。洛陽は春の牡丹が有名で、また近くに龍門大仏があります。この大仏のスケールが壮大で、石窟に大小様々な石仏が彫られています。



瀬戸内観音靈場開創記念法要

本年四月二十三日（土）に瀬戸内観音靈場の開創記念法要が行われます。場所は、瀬戸内市牛窓町観音院（第六番札所）です。

どのような仏教信仰で、この仏像を完成させたのか、人間の叡智は素晴らしいものです。奈良東大寺大仏のモデルとも言われ、仏教史的にも凄いもののです。

その規模の大きさに、ただただ感激するのみでした。所靈場第五回目の巡拝です。信徒の皆様と、西国三十三ヶ所靈場第五回目の巡拝です。信徒の皆様と、西国三十三ヶ

西国三十三ヶ所靈場巡り

次の予定は、四月十三日（水）・十四日（木）です。宜しくお願い致します。

また、天台宗の總本山である延暦寺にもお参りし、真言宗とは違う、静寂さの中に趣のある伽藍の佇まいに感動を覚えました。その他にも国宝級の建物が多く、少し石段には苦労したかも知れませんが、石山寺や長命寺など琵琶湖周辺の古刹の参拝も素晴らしい雰囲気でした。

本当に雨が残念で、晴れた時に、またお参りしたい観音靈場です。

